

<白金標準、4600円～4800円の逆張りトレンド・・・>



(出所：オアシス)

トランプ次期大統領は、すべての外国製品に 10%～20%の関税を課し、中国からの製品には 60%以上の関税を課すと繰り返し示唆している。そのため貴金属も対象であり、その動きが貴金属において CME の指定倉庫在庫の増加を示唆している。特に NY 白金でも 6 トンの在庫が 9 トンまで増加するなどロンドン市場から NY 市場へと品物の移動を受け NY 市場のプレミアムが低下、一時 1000 ドルを超える水準から 938.5 ドルまで下落している。

しかし週末にはトランプ次期大統領の就任に合わせて 950 ドルを回復している。

ただ白金標準先物は、23 日の日銀金融政策決定会合や 29 日の FOMC を控え、円高の洗礼を受け、また景気後退懸念が強い EU では利下げ観測が高く、自国通貨ユーロが売られ易い環境下であり、関税プレミアムが高い NY 白金に比べ割安に存在しており、そのギャップを埋める事が出来るかに注目される。そのため今しばらく 4600 円～4700 円の狭いレンジ相場を続けながら、トランプ次期大統領の関税要因を見極める動きが続くように思える。特に日銀と FRB の金融政策の違いに伴う円高の動きには注意が必要に思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** は下げながら、**シグナル** も切り下げている。RCI では**短期**が下げながら、**長期**も下げている。そのためオシレーターは弱気を示唆しており、4600 円で下げ渋るか見極めが必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引1,655,000円(2025年1月20日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復71,280円(2025年1月20日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>